

白砂青松の奈多・三苫の松林

○奈多・三苫をはじめ、福岡市一体の松林が松くい虫により、枯れていきます。

○東日本大震災や大規模な松枯れなど、人類の自然への畏敬と共生の必要を感じます。

○今、緊急にすべきことは、伐倒。今回12月補正を加え、約八千万円を確保して伐倒中。

○次に、松くい虫が飛び出す、4月までに、伐倒した松の搬出が必要。

今林ひであき

市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



〈議員前の雑感日記、平成19年2月4日〉

今朝、穏やかな陽気に誘われて奈多松林に散歩に行きました。3年前に植林した松（「スーパー黒松」という品種）は、背丈がすでに私の身長より大きく育っていました。

ここに至るまでには、植林会のみなさんが、 unnecessary 枝を切り落として日当たりをよくするなど日頃の手入れを欠かさず行ったたまものです。手入れされた松林越しに、冬には珍しく静かな、そして美しい玄界灘の海が見えました。朝から何かすがすがしい気分となりました。今の松林が黒田長政公の命により作られて500年たちます。この長い年月を経た松林は既に自然の一部となっています。

和白地区を中心とした東区が市内でも雪が少ないのは、松林が玄界灘からの厳しい風や寒さから守っているためだと言われています。私はこんな自然を生かしたまちづくりを夢見ています。未来の子どもたちのために残すべき自然を守り、新しいまちづくりと調和した「自然」を作って行きたいと思えます。



「新こども病院」移転と アイランドシティのまち

- アイランドシティに「こども病院」が移転決定。「こども病院」の移転が先に決定したので、「市民病院（博多区吉塚）」との物理的な統合はできません
- しかし、赤字を抑えるためには、効率的な運営が必要。
- 私は、将来のアイランドシティのまちづくりとして「市民病院」の移転の際には「こども病院」に隣接させれば、まちづくりの効果と併設メリットで赤字が減少。
- 新病院（こども病院・市民病院）を中心としたまちづくり
- ・こども図書館・美術館
- ・医療ゾーン（医療モールの形成）

雁ノ巣レクリエーション センターの改修（4月）

- 雁レク前の4車線化に伴い、センター内が改修されます。
- 雁レク前交差点の改良
アイランドシティからの奈多方面へ、右折時間の延長
・出入口は二か所（アビスパ側にも）
- 駐車場の拡大（約千五百台分）
- 駐車場を分散、奥まで車の延伸
- シャワー室・トイレの増設
- 球場のネットなどの施設改善
- 駐車料金は1回300円
（回数券で200円）
1時間無料
（荷物出入時間）

福岡県と福岡市との関係 国・県・市の役割を明確に

- 大阪市と大阪府の二重行政？
- 政令市の意義は、一人あたりの行政サービスが低く、税金の還元が少ない都心部の市民に、手厚くするためであり、大阪が目指すものと同じ「二重行政」を避けるためです。
- 日本の閉塞感に変化を求め、期待感だけでは困ります。
- 税金の還元が少ない事例として
県独自の条例「森林環境税」
福岡市民は、3億円税金を支払
・市内の緑化へ、わずか0.8億円還元
- 今は、「松くい虫」対策に使えない「森林環境税」の柔軟な対応が望まれます。